

# 安定生産を実現する効率的な農業の構築

～ 未来ある幸福農業を目指そう！ ～

十勝農業改良普及センター十勝北部支所 地域第二係

## 1 活動対象および概要

上士幌町幸福地区  
【畑作6戸】

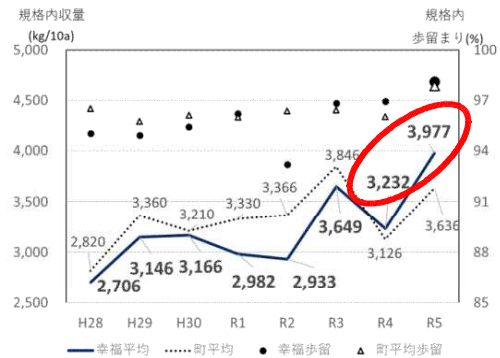
面積256.7ha（秋まき小麦37.7ha、ばれいしょ50.3ha、てんさい40.3ha、菜豆25.5ha、小豆14.7ha、スイートコーン17ha、大豆3.5ha、そ菜4.9ha、葉草3.3ha、飼料用とうもろこし42.9ha、その他）

## 2 背景・ねらい

○主力の加工用ばれいしょのみ、収量が町の平均以下。技術改善意欲は高い

生産性向上の技術支援（～R5）

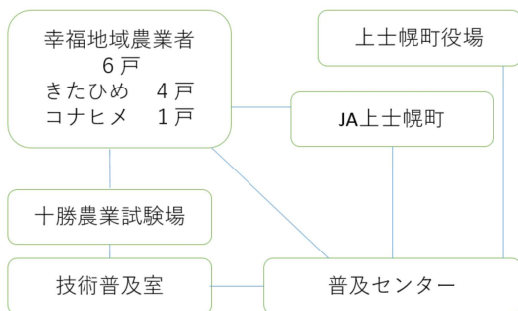
- 適正茎数（12本/m<sup>2</sup>）確保への取り組み（栽植本数の確保、萌芽率向上）
- 土壌分析の活用検討および施肥改善



収量は町の平均以上に！更なる活動の展開する

## 3 活動の経過

○連携した活動体制で支援を進めた



調査への協力、技術提案



懇談会でのデータ共有  
生産向上への意見交換

○生産性向上のために調査・提案



施肥は今までと同じ内容で良いかな？

追肥や緩効性肥料のメニューもあります

今までよりも安いし省力化になりそう！

土壌分析を活用した施肥内容検討



種芋コストを低減して収量が取れたら良いわ

でん原ばれいしょの疎植栽培試験

- ・グリーンシーカーを用いた枯凋状況の数値化
- ・対策の検討(土壌断面調査、緩効性肥料試験)



茎葉黄変期の適正化検討

## 4 活動の成果

○土壌診断に基づいた施肥対応実践 →4戸で実践！

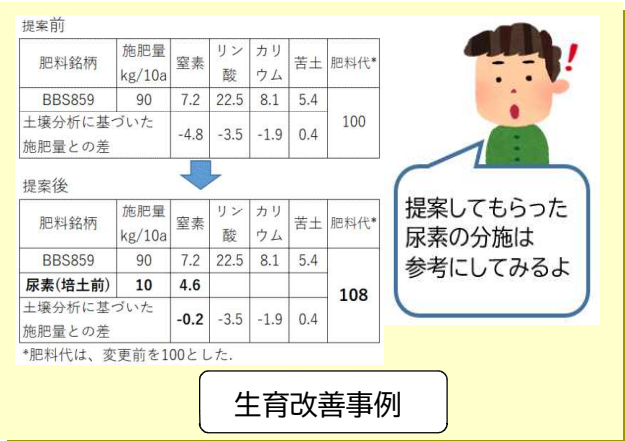
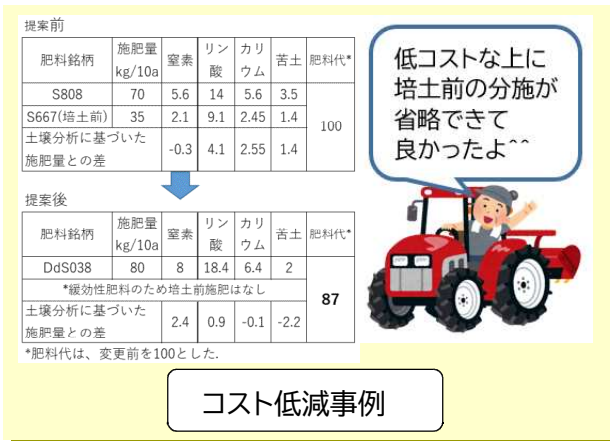
○今までの施肥内容を確認した上で、コスト低減もしくは生育が改善し生産の向上が見込まれる設計を実践！

農業者	提案事項		提案作物数		実践農家戸数 ※2	備考
	コスト低減	生育改善 ※1	R5	R6		
A	○		1	2	◎	土壌分析に基づく施肥設計(小豆)
B	○		0	4 ※3	△	-
C	○	○	2	4	◎	緩効性肥料銘柄の試行(きたひめ)
D	○	○	1	3	◎	緩効性肥料銘柄の試行(きたひめ)
E	○	○	5	4	◎	土壌分析に基づく施肥設計(コナヒメ)

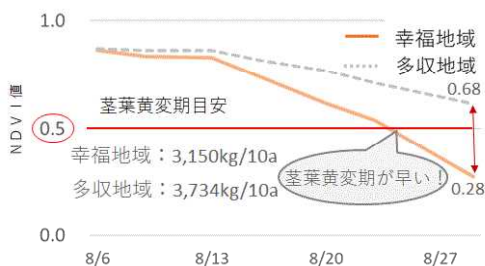
※1 ばれいしょの早期枯凋対策、豆類の青立ち軽減対策を含む

※2 ◎：提案した施肥設計を実践 △：提案のみ

※3 B氏はR5年度重点活動で示した土壌シスト検診時の分析値より算出した推定値で行った



○莖葉黄変期の適正化に向けた調査で、改善にむけて実践！



グリーンシーカーで莖葉黄変を数値化、規格内収量との関係を農業者が理解した



土壌断面調査で土壌の物理性を農業者が理解、改善に向けて心土破碎を実践！

## 5 今後の対応

改善効果を検証し、生産性や経済性の改善効果を検証する。